

第26回 町長記者会見

- 開催日時 令和2年4月24日（金）午後3時00分～
- 開催場所 遠軽町役場3階第3・4会議室
- 記者数 3人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、定例記者会見、今回の議題についてご説明申し上げます。

■新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金について

最初に、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金についてであります。

このたびの、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、道では、去る4月20日に、感染症拡大防止のための緊急事態措置に伴う休業や飲食店における19時以降のアルコール類の提供自粛の要請を行ったところであります。

また、道では、当該休業の要請に協力し、感染リスクの低減に主体的に取り組む事業者を支援する支援金、「休業協力・感染リスク低減支援金（仮称）」の制度を創設することとし、詳細について検討を進めているところであります。

こうした中、町としても、当該休業要請に協力し、感染リスクの低減に主体的に取り組んでいる事業者を支援するため、協力金制度を創設することとし、感染症の拡大防止に向けた取組を強化したいと考えております。

町で創設する協力金制度についてですが、現在、道で検討を進めている支援金制度での支給対象に加え、「酒類の提供を行わない飲食店」も支給対象に加えることとし、道の支援金に上乗せで支給することにより、1事業者当たり一律30万円が行き届くことになる制度にすることとしております。

支給に係る現時点でのスケジュールといたしましては、休業などをご協力いただく期間が5月6日までとなっていますので、この期間が終了した後、速やかに申請受付などの事務を執行したいと考えており、5月中旬から申請受付開始ができるよう、検討しているところであります。

また、事業実施に必要な補正予算につきましては、事業者へ支給する協力金のほか、申請書送付に係る郵送料、振込手数料などの事務費の総額として、2240万4000円と見込んでおります。

スケジュールや予算額に関しましては、今後の調整により一部変更となる場合もございますが、本協力金が速やかに支給できるよう尽力してまいります。

■特別定額給付金（仮称）について

次に、特別定額給付金（仮称）についてであります。

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策が令和2年4月20日に閣議決定され、給付対象者に一律10万円を給付する「特別定額給付金（仮称）事業」が実施されることとなりました。

国からは、各市町村において、可能な限り迅速に給付対象者の皆様へ給付金を届けることができるよう、国の補正予算の成立時期に関わらず、補正予算の編成・成立に尽力するよう通知があったところであり、本町といたしましても、できる限り早い給付を目指し、準備を進めているところであります。

本町における給付に係るスケジュールといたしましては、申請書の発送を、5月の連休明け頃から順次行い、銀行口座への振り込み時期は、5月中旬以降を予定しております。申請

期限は、受付開始日から3か月以内とされていることから、8月初旬頃までを想定しております。

給付対象者につきましては、4月27日の基準日において住民基本台帳に記録されている人数となりますが、現時点では、給付対象者を約19,400人と想定しております。

補正予算につきましては、専決処分によりまして、事務費と事業費を合わせて約19億6千万円を見込んでおります。

一日も早い給付を心掛け、対応させていただきます。

■新型コロナウイルス感染症対策に係るマスク等の配布について

このたび、町内事業者のご協力によりまして、新型コロナウイルス感染防止に係るマスクなどの消耗品を購入し、町民の皆様及び医療機関などへ配布することとしましたので、お知らせします。

購入します主な消耗品としまして、

- ・マスク 33万枚
- ・エタノール消毒液 20リットル 96箱
- ・次亜塩素酸消毒液 20リットル 15箱です。

マスクの33万枚の配布内訳は、全町民に一人10枚の配布で20万枚、残りの13万枚については、病院などの医療関係、社会福祉施設関係、学校関係、保育施設関係などに配布するほか、備蓄分とする予定です。

消毒液を含め、医療関係などへの配布方法及び数量については、現在検討中であり、また、配布時期につきましては、納入でき次第、安全に速やかに配布したいと考えております。

なお、今後におきましても非接触型体温計や防護服、医療機器等の備品など必要とされる物品等について発注の目途がつき次第、財源となる地方創生臨時交付金の動向を確認しながら、計画的に購入していきたいと考えております。

また、町内事業所から、数多くのマスクやアルコール消毒液など町へ寄贈していただいております。

さらに直接、病院や保育関係施設などへの寄贈があったとも聞いております。この場をお借りして、寄贈していただきました皆様にお礼を申し上げます。

■医療従事者に対する応援メッセージについて

新型コロナウイルスが発生してから今日まで、世界中において医療従事者が最前線で戦っています。

遠軽町におきましても、今月に入ってから町内の事業所等で罹患された方がおり、遠軽厚生病院をはじめとする町内の医療従事者の方々が、罹患された方はもちろん、我々の命を守るため、また、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、身をていして戦っていただいております。

町としまして、いまだ先の見えない厳しい戦いに挑んでおられる医療従事者の方々、またその家族の皆様に対して、心から感謝し応援するべくメッセージを作り、本日より、さまざまな媒体を通じて発信してまいります。

まず、大通南1丁目にあります「ふれあいパーク（都市公園）」において、昨年度設置したスペースプレーヤーという屋外型のプロジェクターを使って動画メッセージを流します。

午後6時から9時までを予定しております。同じ動画を町のホームページや遠軽町公式YouTubeチャンネルを使って発信するほか、今後は町内を走る路線バス等にもメッセージを掲示していく考えであります。